



高知松山自動車道 いの～^{お ち}越知

第2回 説明資料

国土交通省 四国地方整備局



目次

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール（案）	…2
2. 前回の審議内容	…4
3. 第1回意見聴取の結果	…7
4. 政策目標（案）の設定と 対応方針（案）の検討	…26
5. 第2回意見聴取方法（案）	…36

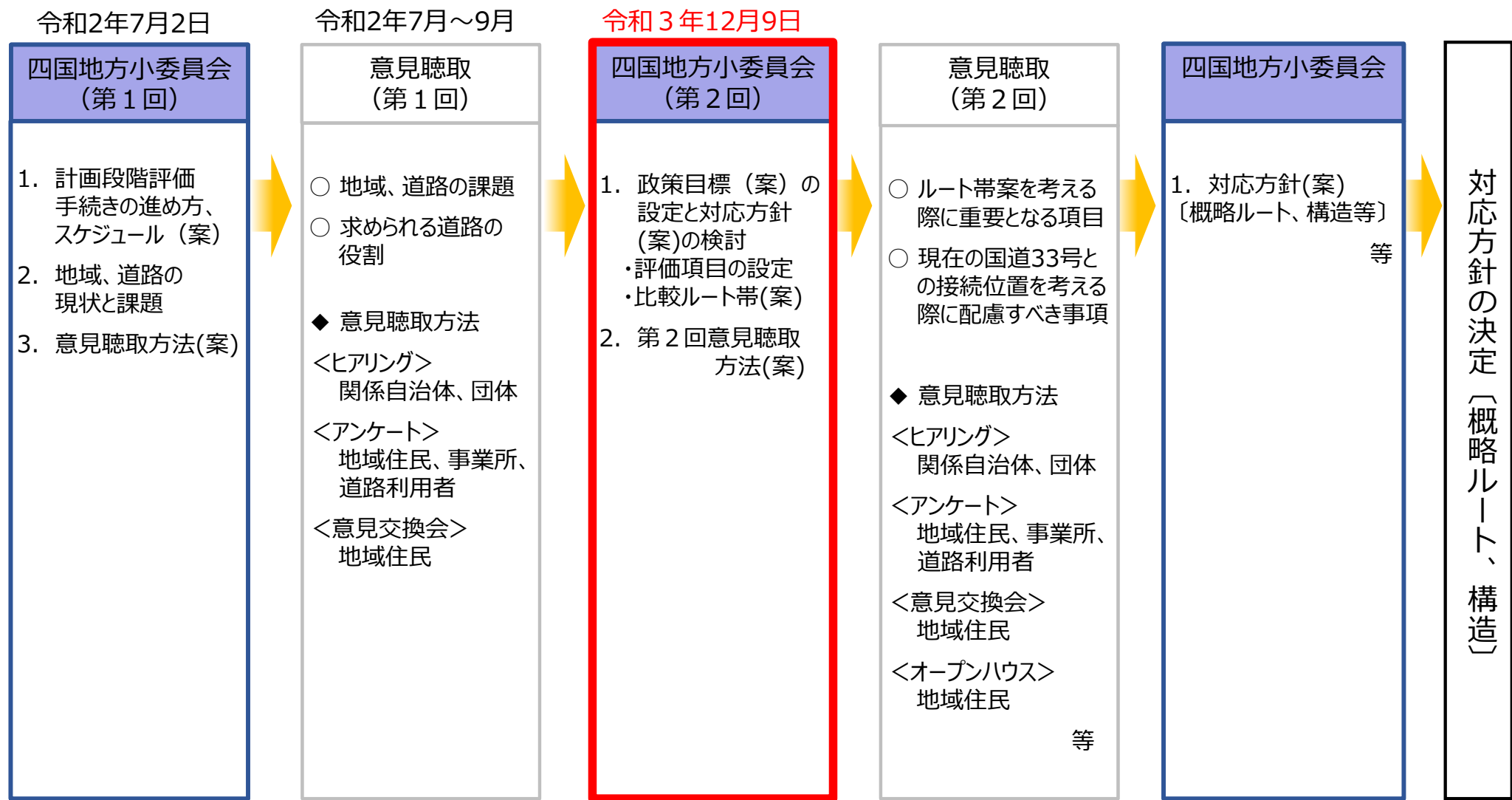


1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)



1. 計画段階評価の進め方・スケジュール（案）

○ 地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



※各段階で随時自治体と調整

地方小委員会



2. 前回の審議内容

2. 前回の審議内容(第1回四国地方小委員会の審議内容)



第1回四国地方小委員会の概要

■実施日 令和2年7月2日（木）
■主な議題 ①地域や道路の現状と課題 ②意見聴取方法（案）

第1回四国地方小委員会での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・自然環境が豊かなところであることから、環境面の配慮をしてもらいたい。	・今後、道路計画（概略ルート、構造等）の検討において配慮していく。
・沿道の店舗や観光資源などの持続性・アクセス性に配慮をしてもらいたい。	・今後、道路計画（概略ルート、構造等）の検討において配慮していく。
・高齢者が多く、歩行者・二輪車などの事故についても整理をしてもらいたい。	・国道33号の歩行者・自転車・二輪車が当事者となっている死傷事故について、ITARDA（交通事故総合分析センター）データより整理して確認。
・地域事情に応じた意見聴取（医療従事者・スポーツ関連等）を行ってもらいたい。	・医療従事者（当該地域の第二次医療施設）、スポーツ関連施設へのヒアリングを実施。
・広域的な観点での課題や必要性も考えられることから、対象地域外からも意見聴取を行ってもらいたい。	・対象地域外の自治体（愛媛県、黒潮町等）にもヒアリング調査を実施。 ・広域的な意見聴取を行うために、土佐国道事務所、いの町、日高村、佐川町、越知町のHPでWEBアンケートを実施。 ・Facebook、Twitter、新聞広告、道の駅等へのポスター掲載により広く広報を実施。



2. 前回の審議内容(地域課題の整理)

防災

- いの町～越知町では南海トラフ地震により建物の約2割～4割が全半壊・焼失という甚大な被害が想定
- いの町～佐川町では台風などの豪雨時の路面冠水による通行止め
- 国道33号は四国広域道路啓開計画における進出ルートおよび高知県の第1次緊急輸送道路に指定されているが災害に対して脆弱
- 国道33号と国道494号の連携

安心・安全

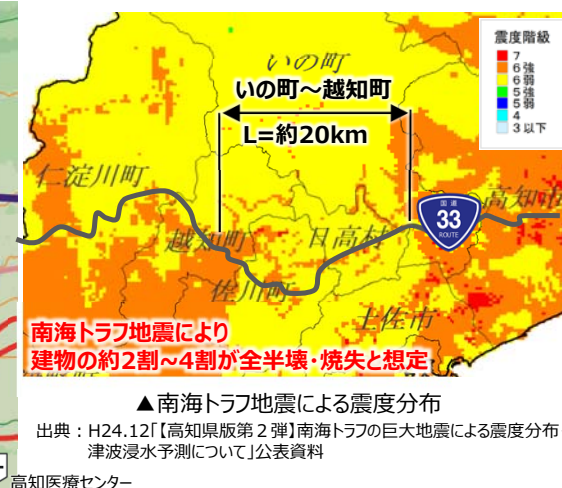
- 路面冠水が住民の生活に影響
- 路面冠水により国道494号須崎市方面に大きく迂回を強いられる
- 高知市内にある第三次医療施設までの救急搬送に相当な時間を要する
- 線形不良箇所や混雑が安全・円滑な救急搬送に影響
- 線形不良が連続しており、死傷事故も発生
- 混雑が移動販売による買い物弱者の支援に影響

産業・観光振興

- 赤土トンネル等、国道33号沿いのトンネル断面が狭小で流通に支障
- 全国へ出荷されている特産品は、通行止めにより出荷が遅延するなど、計画通りの出荷が困難
- 国道494号 須崎市方面への産業の流通
- 観光滞在時間が短くツアーの設定が困難
- 観光施設入込客数が伸び悩み

交通の円滑化

- 国道33号 朝・夕ピーク時間帯の混雑
- 赤土トンネル等、国道33号沿いのトンネル断面が狭小でトレーラー等の走行に支障
- 日高村北部集落から国道33号沿線地域へのアクセス
- 越知町からJR駅への送迎時間・定時性



凡例【施設・課題】

- ：高知新港
- ⊕：第三次医療施設
- ：線形不良箇所 (R<150)
- ⊗：死傷事故発生箇所(R1)
- 🚚：物流施設
- 🟡：混雑区間

凡例【道路】

- ：高速道路
- ：直轄国道
- ：補助国道
- ：主要地方道
- ：一般県道



3. 第1回意見聴取の結果



3. 第1回意見聴取の結果(意見聴取の実施概要)

○ 意見聴取は、アンケート調査、ヒアリング調査及び意見交換会を以下のとおり実施した。

	対象者	実施期間	回収方法	実施概要	回答状況
アンケート調査	地域住民	令和2年7月29日 ～令和2年8月21日	郵送またはWEB上で回収	いの町、日高村、佐川町、越知町の全世帯に配布 (20,155部)	回答数：4,442票 (回収率：22.0%)
	事業所	令和2年7月29日 ～令和2年8月21日	郵送回収	いの町、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町の全事業所に配布 高知市の運輸業の事業所に配布 (1,805部)	回答数：690票 (回収率：38.2%)
	道路利用者	令和2年7月29日 ～令和2年8月21日	郵送またはWEB上で回収 ヒアリング時回収	道の駅土佐和紙工芸村、いの町紙の博物館、村の駅ひだか、佐川地質館、 スノーピークかわの駅おち で配布 (500部) 土佐国道事務所、いの町、日高村、佐川町、越知町のHP上にアンケートを掲載 高知県立佐川高校の生徒を対象にアンケート調査を実施	回答数：527票 (郵送またはWEB:154票 ヒアリング時 :261票 佐川高校生 :112票)
ヒアリング調査	自治体及び 団体代表者	令和2年7月29日 ～令和2年9月11日	電話・メール・FAX、及び インタビュー形式でのヒアリング	【自治体】 高知県、愛媛県、高知市、いの町、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町、 須崎市、中土佐町、四万十町、黒潮町、松山市、砥部町、久万高原町 【各団体等】 商工会、消防署、警察署、農協、漁協、観光協会、スーパー(移動販売)、交通 事業者(バス、タクシー)、医療関係、福祉関係、スポーツ関連施設、県・市町村か ら地域代表として 推薦いただいた地域の活動団体	【自治体】 15自治体 【各団体等】 41団体
	道路利用者	令和2年8月23日	インタビュー形式でのヒアリング	【施設利用者】 道の駅土佐和紙工芸村、いの町紙の博物館、村の駅ひだか、佐川地質館、 スノーピークかわの駅おち	261人
意見交換会	地域住民	令和2年8月18日	ワークショップ形式	越知町の住民の方	参加者：19人
		令和2年8月19日		日高村の住民の方	参加者：21人
		令和2年8月20日		佐川町の住民の方	参加者：40人
		令和2年8月21日		いの町の住民の方	参加者：8人

3. 第1回意見聴取の結果(アンケートの広報状況)



○ 新聞広告、ポスター、ホームページ、Facebook、Twitterにより、アンケートの広報を実施した。

▼新聞広告によるアンケート調査の周知

○高知新聞（令和2年8月9日（日））

高知松山自動車道 いの～越知間における道路計画に関する 第1回アンケート調査

高知松山自動車道 いの～越知間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまと道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートの内容
地域や国道33号（いの～越知間）の課題、道路に求められる役割について

アンケート対象者・実施方法

アンケート対象者	実施方法
沿線地域にお住まいの方	・郵送にて配布 いの町、日高村、越知町、全世帯に配布
沿線地域の事業所	・郵送にて配布 いの町、日高村、越知町、仁淀川町：全事業所に配布 高知市：建設業の事業所に配布
その他の地域にお住まいの道路利用者	・周辺の道の駅、観光施設にてアンケート用紙を配布 ※ ※インターネット（WEB）アンケート

アンケート期間 令和2年7月29日（水）～8月21日（金）

インターネットによる回答
土佐国道事務所 検索
<https://www.sir.mlit.go.jp/tosakoku/>

【アンケートのお問い合わせ先】
土佐国道事務所 計画課
TEL 088-885-4825

みなさまのご意見 お待ちしております。

▼ホームページへのアンケート（バナー）の掲載

○土佐国道事務所

土佐国道事務所 tosakoku 国土交通省 四国地方整備局

道路防災情報
防災・災害情報
雨量情報
雪道情報

第1回 高知松山自動車道（いの～越知）に関するアンケート 実施期間 令和2年 8月21日（金）まで
ご協力をお願いします

第1回 高知松山自動車道（いの～越知）に関するアンケート 実施期間 令和2年 8月21日（金）まで
ご協力をお願いします

32 渋滞対策 高知東部自動車道

記者発表
2020年07月28日：高知松山自動車道 いの～越知間の道路計画について、皆さまのご意見をお聞かせ下さい。～第1回アンケート調査～
2020年07月28日：令和2年度 国土交通省四国地方整備局の発表について
2020年07月21日：高知松山自動車道「開通イベント」のお知らせ ～道の駅上において地元小学生らによるイベント開催～
2020年07月03日：高知市東部自動車道 商業通行止めのお知らせ ～高知市東部の道路建設工事に伴う道路通行止め～
2020年06月09日：国道5号 大山道路 全面通行止めのお知らせ ～安全・安心にご利用頂くために、トンネル工事・維持作業を行います～
2020年05月26日：高知東部自動車道（高知市東部）【高知市いの～越知間】C 商業全面通行止めのお知らせ ～安全・安心にご利用頂くために、維持作業・設備点検を行います～
2020年05月19日：高知松山自動車道【高知市C～高知市東部】C 商業全面通行止めのお知らせ ～安全・安心にご利用頂くために、維持作業・設備点検を行います～
2020年05月12日：高知東部自動車道（高知市東部）【高知市C～高知市東部】C 商業全面通行止めのお知らせ ～安全・安心にご利用頂くために、維持作業・設備点検を行います～
2020年04月09日：高知東部自動車道（高知市東部）【高知市C～高知市東部】C 商業全面通行止めのお知らせ ～安全・安心にご利用頂くために、維持作業・設備点検を行います～

▼ポスター掲示によるアンケート調査の周知

高知松山自動車道（いの～越知間）における道路計画に関する 第1回アンケート調査

高知松山自動車道 いの～越知間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまと道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートを実施しています。皆さまのご意見をお待ちしております。

アンケート用紙を配布する道の駅、観光施設

アンケート内容
地域や国道33号（いの～越知間）の課題、道路に求められる役割について

アンケート対象者
沿線地域にお住まいの方
沿線地域の事業所
その他の地域にお住まいの道路利用者

実施方法
郵送にて配布
いの町、日高村、越知町、全世帯に配布
沿線地域の事業所
いの町、日高村、越知町、仁淀川町：全事業所に配布
高知市：建設業の事業所に配布
その他の地域にお住まいの道路利用者
周辺の道の駅、観光施設にてアンケート用紙を配布 ※
※インターネット（WEB）アンケート

アンケート期間 令和2年7月29日（水）～8月21日（金）

インターネットによる回答
土佐国道事務所 検索
<https://www.sir.mlit.go.jp/tosakoku/>

【アンケートのお問い合わせ先】
土佐国道事務所 計画課
TEL 088-885-4825

実施主体 国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所

○スノーピークかわの駅おち



○佐川地質館



▼Facebook・Twitterによるアンケート調査の周知

○四国地方整備局 Facebook

国土交通省 四国地方整備局 5時間前

高知松山自動車道（いの～越知間）の道路計画に関するアンケート調査を実施しています。
皆さまのご協力をお願いします。

【期間】令和2年7月29日（水）～8月21日（金）
※WEBアンケートの回答は下記URLより ↓
<https://research.surece.co.jp/2008kmroad/start.php?place=1>
#土佐国道事務所 #高知松山自動車道 #アンケート #道路 #国道

アンケートの概要
高知松山自動車道（いの～越知間）の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまと道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートの内容
地域や国道33号（いの～越知間）の課題、道路に求められる役割について

アンケートの対象者
沿線地域にお住まいの方
沿線地域の事業所
その他の地域にお住まいの道路利用者

実施方法
郵送にて配布
いの町、日高村、越知町、全世帯に配布
沿線地域の事業所
いの町、日高村、越知町、仁淀川町：全事業所に配布
高知市：建設業の事業所に配布
その他の地域にお住まいの道路利用者
周辺の道の駅、観光施設にてアンケート用紙を配布 ※
※インターネット（WEB）アンケート

アンケート期間 令和2年7月29日（水）～8月21日（金）

インターネットによる回答
土佐国道事務所 検索
<https://www.sir.mlit.go.jp/tosakoku/>

【アンケートのお問い合わせ先】
土佐国道事務所 計画課
TEL 088-885-4825

実施主体 国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所

○高知県広報広聴課 Twitter
（土佐国道事務所リツイート）

ツイッター

高知県広報広聴課さんがリツイートしました

国土交通省 土佐国道事務所 @mlit_tosa

【記者発表】高知松山自動車道 いの～越知間の道路計画について、皆さまのご意見をお聞かせ下さい。
～第1回アンケート調査～
■調査期間：令和2年7月29日（水）～8月21日（金）※配布作業の都合により開始が前後する場合があります
■調査内容：地域や国道33号の課題、道路に求められる役割について（別添1）

2020年7月28日

3. 第1回意見聴取の結果(ヒアリングの実施状況)

○ 自治体や各団体及び道路利用者へインタビュー形式でのヒアリングを実施した。

▼各団体へのヒアリング状況

○JA高知県 日高支所
令和2年9月3日(木)



○(株)サンプラザ 佐川ショッピング店
令和2年9月3日(木)



○株式会社 高知犬
令和2年9月4日(金)



○仁淀川林産協同組合
令和2年9月7日(月)



○仁淀ブルー観光協議会
令和2年9月8日(火)

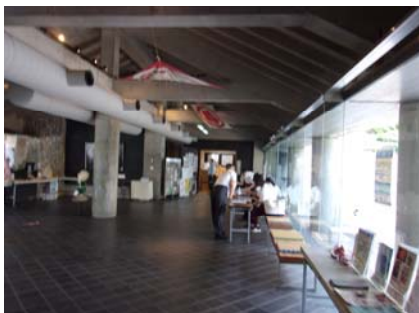


▼道路利用者へのヒアリング状況

○道の駅 土佐和紙工芸村
令和2年8月23日(日)



○いの町紙の博物館
令和2年8月23日(日)



○村の駅ひだか
令和2年8月23日(日)



○佐川地質館
令和2年8月23日(日)



○スノーピークかわの駅おち
令和2年8月23日(日)





3. 第1回意見聴取の結果(意見交換会の開催状況)

- 意見聴取の実施にあたり、地域住民の方などを対象として、いの～越知間の「地域の課題」や「求められる道路の役割」について話し合うワークショップ形式の意見交換会を開催した。
- 意見交換会の開催にあたっては、案内チラシの配布等により地域住民などへの周知を図った。

▼意見交換会の開催概要

地域	開催場所	開催日	開催時間	参加者数	
いの町	いの町役場	8月21日（金）	18:00～19:30	8名	合計 88名
日高村	日高村保健センター	8月19日（水）	18:00～20:00	21名	
佐川町	佐川町健康福祉センターかわせみ	8月20日（木）	18:00～20:00	40名	
越知町	越知町民会館	8月18日（火）	18:00～20:00	19名	

▼意見交換会の周知

高知松山自動車道（いの～越知間）における道路計画に関する意見交換会

**道路計画に関してどなたでも参加できる
意見交換会を開催します！**

意見交換会の実施について

実施内容 地域や国道33号（いの～越知間）の課題、道路に求められる役割について、自由に意見を言うことができる「意見交換会」を開催します。

開催日時 令和2年8月18日（火）18:00～20:00

開催場所 越知町民会館 大ホール

アクセスマップ

【住所】高知県高岡郡越知町越知甲2562

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3回の回遊、マスク着用などの対策を行います。
※事前申し込みによる参加とさせていただきますので、参加を希望される方は8月14日（金）までに下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ先】 土佐国道事務所 計画課 TEL 088-885-4825
越知町役場 建設課 TEL 0889-26-1113

実施主体 国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 越知町役場

▼意見交換会の開催状況

○越知町意見交換会
令和2年8月18日(火)



○佐川町意見交換会
令和2年8月20日(木)

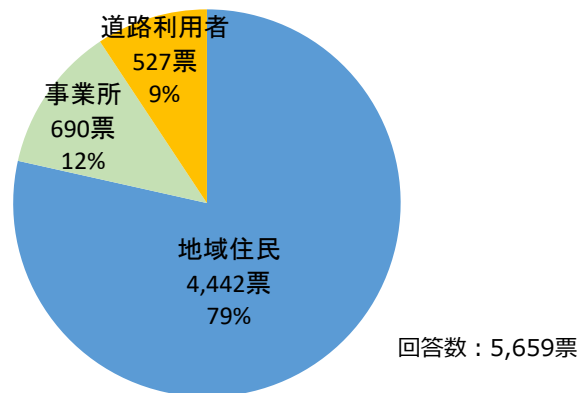




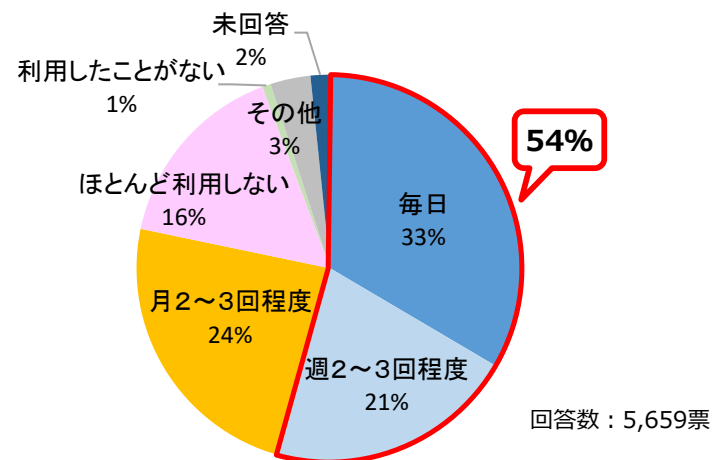
3. 第1回意見聴取の結果(アンケート：回答者の属性)

- 地域住民4,442票、事業所690票、道路利用者527票の回答をいただいた。
- 回答数の約9割が、対象地域であるいの町、日高村、佐川町、越知町に居住。(事業所は所在地)
- 回答者の約5割が、国道33号いの～越知を「週2～3回程度以上利用」と回答。
- 利用目的は、「通勤・通学と仕事」が約4割、「家事・買い物」が約3割、「観光・レジャー」が約2割と多様な状況。

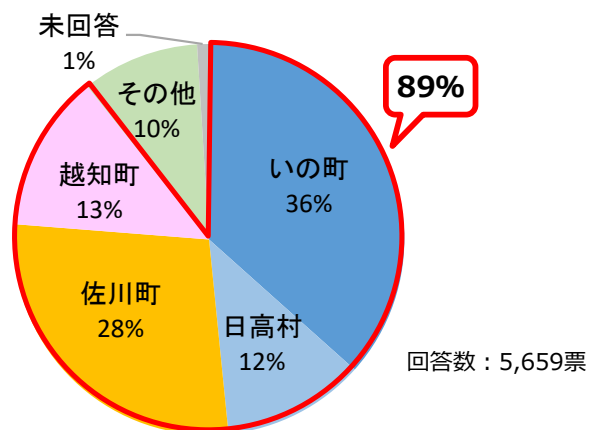
▼アンケート回収結果



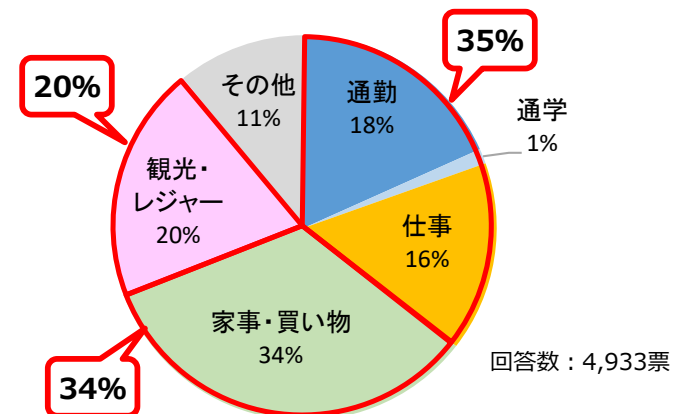
▼国道33号 いの～越知間の利用頻度



▼回答者住所



▼利用目的



※利用目的は住民・道路利用者・WEBアンケート回答者を対象とし、

「利用したことがない」と回答された方以外を対象とする

※「家事」は地区の行事や近所付き合いなど、「外出を伴う家の用事」を示している

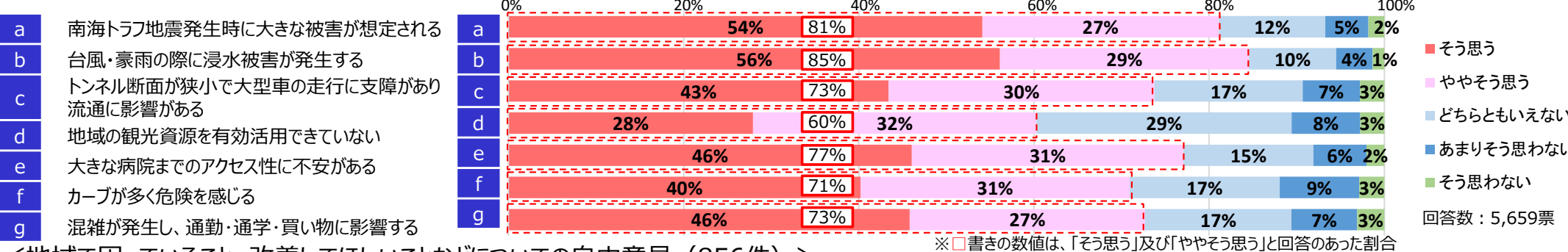
3. 第1回意見聴取の結果(アンケート：地域の課題)



(1) 対象地域 (いの町・日高村・佐川町・越知町地域) の課題について

- すべての項目について、回答者の6割以上が課題とされている。
- 特に **a** , **b** の南海トラフ地震発生時の被害、台風・豪雨等の浸水被害が大きな課題とされている。

問1：人口が減少し、高齢化も進行しているいの町・日高村・佐川町・越知町地域における課題には、どのようなものがありますか？



＜地域で困っていること、改善してほしいことなどについての自由意見（856件）＞

項目	自由意見
a 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される (22件)	■ 幹線道路が国道33号だけであるので、災害、事故などの時には <u>生命や生活、経済などに大きな不安</u> を感じている。(60代男性) ■ 国道沿いに今にも <u>壊れそうな民家があり道路を塞ぐ</u> ことになるのではないかと心配する。(60代女性) ■ <u>霧生関のトンネルが寸断されるとたちまち市内への交通路が断たれるので別ルートを望む</u> 。(30代女性)
b 台風・豪雨の際に浸水被害が発生する (68件)	■ 大雨により土砂崩れや、 <u>浸水する危険箇所が多数</u> あり、通行にいつも不安を感じている。(小売業) ■ <u>大雨時の道路の冠水</u> がなくなるよう期待する。(50代女性)
c トンネル断面が狭小で大型車の走行に支障があり流通に影響がある (37件)	■ <u>赤土トンネルが狭い、暗い</u> 。(70代男性) ■ <u>霧生関トンネルが狭く危険</u> 。(建設業)
d 地域の観光資源を有効活用できていない (7件)	■ 地域の商店街、 <u>観光資源等へのアクセスに配慮</u> した道路対策が必要。(60代男性) ■ 素晴らしい観光施設があるが、 <u>道がよくなるともっと県外の観光客が来る</u> と思う。(40代男性)
e 大きな病院までのアクセス性に不安がある (22件)	■ 救急車が来るまで、来てから <u>病院に着くまでの時間がかかりすぎる</u> ので、何かあったときの事を考えると不安。(40代男性) ■ 救急搬送がスムーズにできるよう <u>迂回路や道幅の拡張</u> をしてほしい。(50代女性)
f カーブが多く危険を感じる (21件)	■ <u>対向車線へはみ出しそうなカーブ</u> があるので改善してほしい。(70代男性) ■ 道路に <u>カーブが多く道幅も狭く危険</u> である。(70代男性)
g 混雑が発生し、通勤・通学・買い物に影響する (174件)	■ <u>いの町から日高村までの朝、晩の渋滞</u> をなくしてほしい。(50代男性) ■ 国道33号で <u>事故等により片側規制等になると、2時間以上</u> 通勤にかかり、非常に不便である。(30代女性) ■ 越知方面から市内に向かう道路は <u>朝夕通勤時間帯にラッシュが慢性的に発生</u> しているので高知西バイパスのさらなる延長を希望する。(50代男性)
その他 (505件)	■ <u>高知市内までのアクセスに時間がかかる</u> 。(20代女性) ■ 追抜きはもちろん、追越しもほとんどできず、迂回路もなく <u>通行にストレス</u> を感じる。(70代男性)

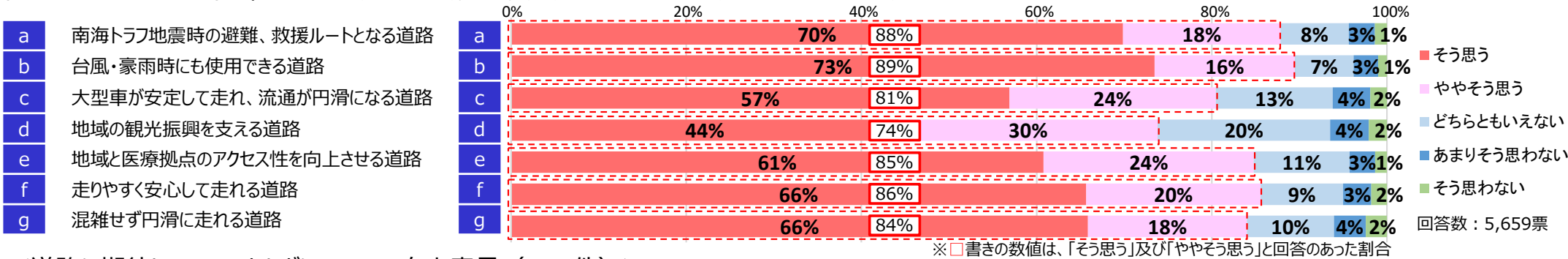
3. 第1回意見聴取の結果(アンケート：道路の役割)



(2) 対象地域 (いの町・日高村・佐川町・越知町地域) に求められる道路の役割について

- すべての役割について、回答者の7割以上が必要と思われる。
- 特に **a** , **b** の災害に関係する道路の役割が強く必要と思われる。

問2：いの町・日高村・佐川町・越知町地域に必要な道路はどのような道路だと思いますか？



<道路に期待していることなどについての自由意見 (873件) >

項目	自由意見
a 南海トラフ地震時の避難、救援ルートとなる道路 (35件)	<ul style="list-style-type: none">■ 災害時に影響を受けても、早期復旧が容易に可能な道路。(40代女性)■ 事故、災害で道路寸断されることがないようにしてほしい。(60代男性)
b 台風・豪雨時にも使用できる道路 (56件)	<ul style="list-style-type: none">■ 近年、雨の量が多く道路の冠水が発生しやすいので水害に強い道を目指してほしい。(60代女性)■ 天候に左右されず安心して利用できる道路の開通に期待している。(鉱業)
c 大型車が安定して走れ、流通が円滑になる道路 (11件)	<ul style="list-style-type: none">■ 道幅が広く、大型車とのすれ違いに安心して運転できる道路。(50代女性)■ 国道33号以外の道が必要。赤土トンネルはとても狭く、通るのが怖い。(30代女性)
d 地域の観光振興を支える道路 (12件)	<ul style="list-style-type: none">■ 国道33号沿いは観光面での素材が豊富なので、それを生かすためにも無料の高規格道路がほしい。(60代男性)■ 観光振興とともに、沿道沿いに住む住民たちも生活しやすい道路になることを期待する。(60代女性)
e 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 (11件)	<ul style="list-style-type: none">■ 高知医大病院や高知医療センターへ素早く行ける道がほしい。(50代女性)■ 地方には生命を守る道路が必要である。(60代男性)
f 走りやすく安心して走れる道路 (23件)	<ul style="list-style-type: none">■ 山が多いが、出来る限りまっすぐで走りやすい道を望む。(40代男性)■ カーブに突入した時に初めて対向車線の救急車に気づく事があります。もう少し、早めに気付けるような道路になれば。(40代女性)
g 混雑せず円滑に走れる道路 (73件)	<ul style="list-style-type: none">■ バイパス等がなく事故とか水害の時とか何ともならないほど混むし、これが何十年も続いているのを改善してほしい。(60代女性)■ 高知市内に朝晩時間どおりで着く道路を。(サービス業)
その他 (652件)	<ul style="list-style-type: none">■ 松山～高知間が短時間になれば非常に良い。(60代男性)■ 国道33号と国道194号のアクセスが必要。(60代男性)

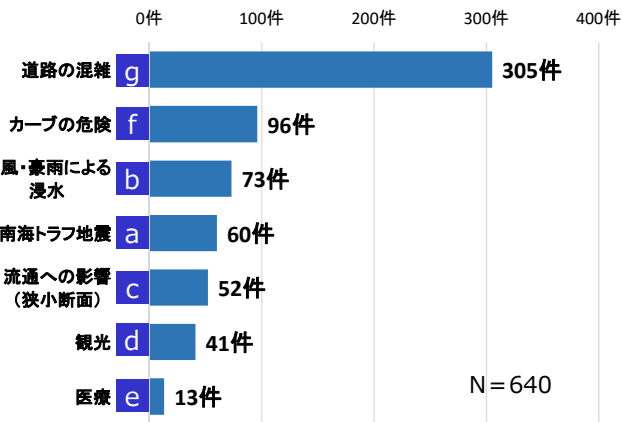
3. 第1回意見聴取の結果(アンケート：国道33号に関する自由意見)



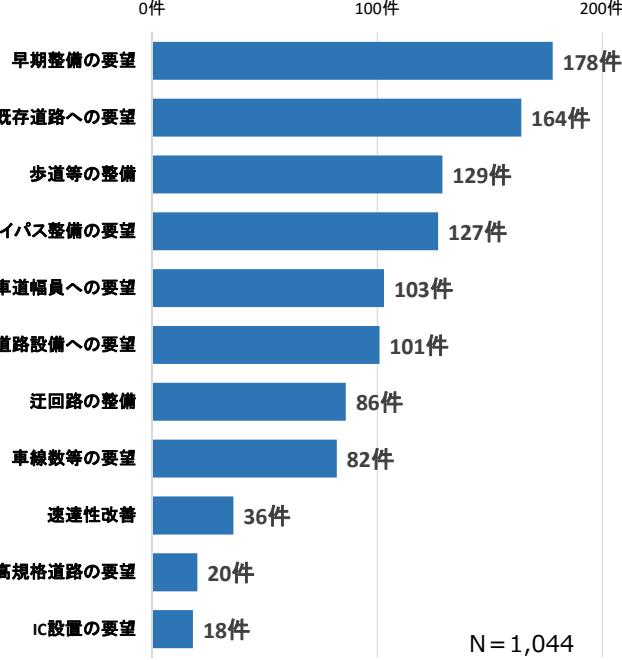
(3) 国道33号 いの～越知間について、あなた自身が日頃から感じることなどについて

- 自由意見でも多くの人が「道路の混雑」に関する課題解決を求めている。
- その他の意見として「早期整備」を期待するご意見を多数頂いた。

<問1、問2の a～g と同一項目の意見>



<その他の意見>



項目	自由意見
g 道路の混雑 (305件)	■ 朝夕の混雑は年々ひどくなっているので解消してほしい。(70代男性)
f カーブの危険 (96件)	■ カーブも坂道も多く、度々事故がある。(40代女性)
b 台風・豪雨による浸水 (73件)	■ 日高村、いの町で浸水したら通行止めになってとても困る。(30代女性)
a 南海トラフ地震 (60件)	■ 大規模災害が起きると、高知市側からは物資等の流通は困難と思っている。(サービス業)
c 流通への影響(狭小断面) (52件)	■ 大型車の往来が自由にできるトンネル幅に拡大してほしい。(70代男性)
d 観光 (41件)	■ 混雑して円滑に走れないので、観光に大きく影響を与えている。(60代男性)
e 医療 (13件)	■ 医療センターなどへ搬送の場合、1時間以上かかるので不安を感じる。(30代男性)
早期整備の要望 (178件)	■ 混雑解消になる道路を早く作って欲しい。(70代女性)
既存道路への要望 (164件)	■ 道路が凸凹して走りづらい。(60代男性)
歩道等の整備 (129件)	■ 歩道の無い国道を通学に利用しており危険を感じている。歩道整備または大型車が通行できる別の道路整備を希望する。(50代女性)
バイパス整備の要望 (127件)	■ 高知西バイパスを延伸して佐川町や越知町の市街地を避けるようにしてほしい。(サービス業)
車道幅員への要望 (103件)	■ 道路幅が広くて安心して走れるように。(60代男性)
道路設備への要望 (101件)	■ スピードが出やすい道には、注意を促す看板がほしい。(30代女性)
迂回路の整備 (86件)	■ 事故が起こった場合は、渋滞が発生し、迂回ルートも少ないので非常に不便。(製造業)
車線数等の要望 (82件)	■ 追い越し可能な区間がもっとあれば良いと思う。(50代男性)
速達性改善 (36件)	■ 産業の維持、発展のためにも高知市街地への時間短縮となるように。(60代男性)
高規格道路の要望 (20件)	■ 高知西バイパスの延長のような新たな高規格道路を整備してもらいたい。(70代男性)
IC設置の要望 (18件)	■ 国道33号沿いの観光施設・商店等へのアクセスと通過交通のバイパスの両立が望ましい。(20代男性)



3. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング：地域の課題)

(1) 対象地域 (いの町・日高村・佐川町・越知町地域) や国道33号 いの～越知間の課題について

○「地震」、「台風・豪雨」、「安全性」、「流通」、「混雑」、「医療」、「観光」等の課題を訴える声が多く寄せられた。

項目	自由意見
a 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される (40団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道33号が唯一の沿線をつなぐ道となっているため、災害時に大きな不安を抱えている。(日高村) ■ 主要な道路が国道33号1本しかなく、災害時に寸断すれば被害が大きくなるように思う。(日高村商工会) ■ 南海トラフ地震での倒壊家屋が救急車両を妨げることが課題。(仁淀川漁業協同組合) ■ 主要幹線道路(国道33号)が被害を受けると、地域が孤立し、たちまち医療物資不足となる。(北島病院)
b 台風・豪雨の際に浸水被害が発生する (39団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浸水被害は、日高村が抱えている最も大きな課題であり、国道33号においても一部冠水するため大きな不安を抱えている。(日高村) ■ 国道33号の浸水により村内外への出入りが不可能になり、トラックが止まったり農産物が水に浸かり全てダメになったことがある。(JA高知県日高支所) ■ 道が一本しかないため、通行止め時や川の氾濫などにより訪問できない地区がある。(越知町社会福祉協議会) ■ 浸水時には、迂回路がないため、スーパーに商品が届かない場合があり、国道494号(須崎市)経由で運搬する。(株式会社サンブラザ)
f カーブが多く危険を感じる (34団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日高村内の線形不良箇所は、以前から交通事故が発生している場所で、大変不安を感じている。(日高村) ■ 見通しが悪く国道への流入車両の確認が遅れる。緊急走行時の追越は危険が伴う。(仁淀消防組合消防署) ■ 国道33号のカーブはきつく、大型車両とのすれ違いの際は注意を払う。(さかわ観光協会) ■ カーブが多いと先が見えないのですれ違いが不安。(仁淀川林産協同組合)
c トンネル断面が狭小で大型車の走行に支障があり流通に影響がある (32団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 狭小なトンネルがあり、大型車の通行がスムーズでないことから高知から愛媛間の物資等の流通に不安がある。(高知県市道路整備課) ■ 赤土トンネルは、断面が狭小でトラックなど大型車両とのすれ違い時に多くの住民が危険を感じている。(越知町) ■ 通常の通行は支障はないものの、大型車同士の場合は後続車に影響が出てくると思われる。(いの町観光協会) ■ 赤土トンネルではトラック荷台の角が当たり火花を散らしながら走行していた。(仁淀川町観光協会)
g 混雑が発生し、通勤・通学・買い物に影響する (32団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域からの要望として「渋滞解消」が一番多いと感じている。生活面、観光面などでも、渋滞の解消が不可欠である。(高知県) ■ いの町と日高村の境付近より日高村役場前までが渋滞が発生している。(いの町) ■ スポーツパークさかわから高知市に行く途中で事故が発生すると迂回路がないため、片側通行を待つしかない。(佐川町教育委員会) ■ JR西佐川駅・佐川駅までの高校生の送迎で、朝夕が混雑する。(越知町)
e 大きな病院までのアクセス性に不安がある (30団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高知市内までの救急搬送について、搬送の時間帯によっては、交通渋滞により時間を要することがある。(佐川町) ■ バイパスが無く、事故発生時には、国道、県道、村道、農道にまで渋滞の影響が波及することがある。(仁淀消防組合消防署) ■ ドクターヘリが利用できない荒天時や夜間は、狭小で見通しの悪いカーブが連続する国道33号では、救える命も救えない。(高北国民健康保険病院) ■ 災害時には、国道33号に車が集中する恐れがあり搬送に支障がでる。(指定居宅介護支援事業所「こでまり」)
d 地域の観光資源を有効活用できていない (22団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通渋滞などにより定時性が確保されないため、観光滞在時間が短くなり、観光資源を十分に活用できていない。(高知県) ■ 日高村では交通渋滞が発生しており、観光時間の設定に支障をきたしている。(いの町) ■ 観光資源は多く存在するが、施設を結ぶ道路網の整備が遅れていることから、最大限の効果が発揮されていない。(中土佐町) ■ 交通の高速化の遅れで観光振興に不利。(高知県ハイヤー・タクシー協議会)



3. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング：道路の役割)

(2) 対象地域 (いの町・日高村・佐川町・越知町地域) に求められる道路の役割について

○「地震」、「台風・豪雨」、「流通」、「医療」、「安全性」、「混雑」、「観光」等の課題解消に寄与できる道路を必要とする声が多く寄せられた。

項目	自由意見
a 南海トラフ地震時の避難、救援ルートとなる道路 (34団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高知県の第1次緊急輸送道路にも位置付けされている道路で、いかなる場合でも<u>信頼性の高い道路としての整備が必要</u>。(いの町) ■ 災害時に<u>現道以外の道路</u>がもう1本ほしい。(株式会社サンプラザ) ■ 南海トラフ地震等の大規模災害時における、黒潮町方面への広域支援進出ルートの役割として大きく寄与するものと思われるため、<u>災害に強い道路構造・ルート</u>となるよう整備されることが望ましい。(黒潮町)
b 台風・豪雨時にも使用できる道路 (33団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道33号以外でも<u>もう一本使用できる幹線道路があれば人やモノの動きの滞りが無くなる</u>ことが期待できる。(高知市道路管理課) ■ <u>冠水により交通が寸断されないような道路</u>。(仁淀消防組合消防署) ■ 台風・豪雨時にも浸水せず、<u>避難や自衛隊等の救援が可能となる道路</u>。(日高村社会福祉協議会) ■ 災害面や安全面から通行止めにならず、<u>緊急時にも安心して通れる道</u>がほしい。(土佐警察署)
c 大型車が安定して走れ、流通が円滑になる道路 (26団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>大型車と歩行者が安心できる道が走りやすく、流通も円滑になる</u>と思われる。(日高わのわ会 (NPO)) ■ <u>時間短縮が図れる道路</u>が出来ることで、いの町・佐川町・越知町などの他地域の集荷場にも事業を拡大できる。(JA高知県 日高支所) ■ 線形不良や<u>トンネル断面狭小箇所での大型車の離合は危険を感じるため解消が必要</u>。(佐川町)
e 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 (25団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 村の唯一の診療所では対応しきれない医療について、<u>高知市内を中心に救急医療施設へのアクセス性向上</u>が非常に重要。(日高村) ■ 救急搬送において<u>走行時間の短縮ができる道路</u>が必要。(仁淀消防組合消防署)
f 走りやすく安心して走れる道路 (25団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ いの町以西の特に県境までは<u>カーブが多く存在しており、早期改良を強く望む</u>。(いの町) ■ 救急搬送時などに、路面に凸凹なく、カーブの視認がよく、追越に際し一般車両の退避スペースがあるなど、<u>緊急走行にストレスがなく、傷病者を安全に搬送できる道路</u>。(仁淀消防組合消防署) ■ <u>見通しが良く幅員が広い道路</u>。(仁淀川林産協同組合)
g 混雑せず円滑に走れる道路 (25団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>日常生活において定時性が確保される道路</u>。(仁淀川林産協同組合) ■ 朝夕のラッシュが非常に激しい日高村において、<u>混雑せず円滑に走行できることは非常に重要</u>。(日高村) ■ <u>渋滞を生じさせない道路網の構築</u>が必要。(中土佐町)
d 地域の観光振興を支える道路 (22団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>大型バスが通行しやすいルート</u>があれば良い。(日高村商工会) ■ <u>観光バスや自家用車が安心して走れる道</u>。(黒岩観光) ■ <u>須崎市から(国道494号方面)のアクセスや能津地区(国道194号)方面へ大型バスが通行しやすいような道路</u>。(日高村観光協会)



3. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング：地域の将来像)

(3) 対象地域 (いの町・日高村・佐川町・越知町地域) を「どのようなまち (地域) にしたいか」について

○「安心・安全」、「防災」、「観光」、「人口減少」、「産業」等の課題を解決できる「まち」にしたいとの声が多く寄せられた。

項目	意見
安心・安全 (19団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>高齢者、子供が安心して生活できるまちづくり</u>。(佐川町デイサービスセンター斗賀野荘) ■ <u>安全な道路のあるまち</u>。(歩行者・自転車安全に通れる道、車を運転する人も安心な道) (仁淀川観光協会) ■ 災害に対しても機能する道路とすることで、<u>救急車が第3次医療施設に早急に到着できるなど、安心・安全な地域づくり</u>が必要。(仁淀消防組合消防署) ■ <u>安心・安全な事故がない道路環境</u>の整備。(土佐警察署)
防災 (16団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>災害による孤立も危惧されていることから、すべての住民が安全で安心して生活できるまちづくり</u>が必要。(高吾北消防本部) ■ <u>災害や緊急時に強いまち</u>。(高北国民健康保険病院) ■ <u>「大雨時の浸水想定」という課題がある中で、高知県全体の防災力を向上させるという観点の下、地域全体のハード・ソフト両面から防災力を向上させ「災害に強い地域」として位置付ける</u>ことを目指す。(日高村)
観光 (15団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道33号沿線の市町村と連携し、<u>仁淀川地域の観光資源を活用した</u>交流人口の拡大等を図るために必要な政策や基盤整備、道路整備を推進し、<u>観光振興及び地域経済の活性化</u>を図りたい。(いの町) ■ 食ロード (いの町(生姜焼街道)～日高村(オムライス街道)) など、<u>地元グルメが多々あり、それらを活かして地域の盛り上げ、佐川町の歴史、越知町の自然体験と連携したまちづくり</u>。(高知県観光コンベンション協会) ■ 観光客が喜ぶスポットの充実や観光スポットに至る道路を快適にして<u>滞在型観光</u>にしたい。(仁淀ブルー観光協議会) ■ 国道33号は愛媛県松山市につながる道路であるため、いの町～越知町間の道路が整備されることにより、<u>高知県から愛媛県への観光客流入</u>につながることを期待する。(愛媛県観光物産課)
人口減少 (12団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高知市以东からも愛媛県からもアクセスの良い地域とすることで、<u>少子高齢化等の高知県の抱えるような様々な問題点を解決していくモデル地域</u>としたい。(北島病院) ■ 高知市等の職場への通勤時間が少しでも改善されて、<u>定住しやすく、町に訪れる人が増える地域</u>にしたい。(越知町生涯学習課) ■ <u>イベント等にもっと集客でき、若い人が増えてまちを盛り上げ人口が増えればよい</u>。(株式会社高知犬)
産業 (10団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>農産物・加工品の地産外商がより一層推進</u>できる地域にしていきたい。(佐川町) ■ 周辺地域で作った<u>農作物を中核施設として位置付けられている日高村に集約させて地域間連携</u>を図りたい。(JA高知県 日高支所)



3. 第1回意見聴取の結果(意見交換会：地域の課題、道路の役割)

- いの町・日高村・佐川町・越知町にて、各地域住民を対象とした意見交換会を開催。合計88名の住民に参加いただいた。
- 「地震」、「台風・豪雨」、「産業」、「観光」、「医療」等の地域課題に対して意見があり、課題を解消する道路の整備が望まれている。

(1) 対象地域 (いの町・日高村・佐川町・越知町地域) や国道33号 いの～越知間の課題について

項目	意見
地震	・道が1本で切土の区間が多いため、 <u>南海トラフ地震時に崖崩れの発生を懸念</u> している。(日高村・佐川町住民)
台風・豪雨	・大雨時には浸水による通行止めが発生し、 <u>迂回路が無い</u> ため <u>陸の孤島</u> となり孤立する。(いの町・日高村・佐川町・越知町住民)
産業	・豪雨による通行制限で <u>農作物の流通が止まる</u> 。(いの町・日高村・佐川町住民)
観光	・国道33号の現道が狭く、 <u>大型バスの通行に支障があり、観光ツアーを呼び込みにくい</u> 道路になっている。(佐川町住民)
医療	・ <u>通行止め時や渋滞時に緊急車両が通れず</u> 、道幅が狭いため救急搬送時に時間がかかる。(日高村住民)
安全な道路	・国道33号の現道が狭く、 <u>急カーブもあるため見通しが悪い</u> 。(いの町・日高村・越知町住民)
混雑	・ <u>朝夕の通勤時間帯に渋滞</u> が発生している。(いの町・日高村・越知町住民)

(2) 対象地域 (いの町・日高村・佐川町・越知町地域) に求められる道路の役割について

項目	意見
地震	・土砂崩れや障害物（倒木など）などが発生しても通行可能な <u>災害時に強い道路整備</u> が必要。(越知町・佐川町住民)
台風・豪雨	・ <u>浸水地区を避ける場所への迂回路の設置</u> や <u>災害時に強い道路整備</u> が必要。(日高村・佐川町・越知町住民)
産業	・ <u>輸送時間の短縮が可能な道路整備</u> が必要。(日高村・佐川町住民)
観光	・現道沿いの村の駅やかわの駅といった既存の <u>観光資源を活かしつつ更に発展させるような道路整備</u> が必要。(いの町・日高村住民)
医療	・安全かつ早く救急搬送ができるように、有事の際に <u>緊急車両が円滑に走れる道路整備</u> が必要。(日高村・佐川町住民)
安全な道路	・ <u>カーブが少ない走りやすい道路</u> がほしい。(日高村・佐川町・越知町住民)
混雑	・ <u>通行時間が短縮される道路整備</u> が必要。(日高村・佐川町・越知町住民)

▼いの町 意見交換会状況



▼日高村 意見交換会状況



▼佐川町 意見交換会状況



▼越知町 意見交換会状況





3. 第1回意見聴取の結果(アンケート・ヒアリングまとめ①)

地域の現状と課題

①南海トラフ地震

【アンケート】

- a 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される
《81%》

【ヒアリング】

- 国道33号が唯一の沿線をつなぐ道となっているため、災害時に大きな不安を抱えている。
- 主要な道路が国道33号1本しかなく、災害時に寸断すれば被害が大きくなるように思う。
- 南海トラフ地震での倒壊家屋が救急車両を妨げることが課題。
- 主要幹線道路(国道33号)が被害を受けると、地域が孤立し、たちまち医療物資不足となる。
- 災害による孤立も危惧されていることから、すべての住民が安全で安心して生活できるまちづくりが必要。

【意見交換会】

- 道が1本で切土の区間が多いため、南海トラフ地震時に崖崩れの発生を懸念している。

②台風・豪雨

【アンケート】

- b 台風・豪雨の際に浸水被害が発生する 《85%》

【ヒアリング】

- 浸水被害は、日高村が抱えている最も大きな課題であり、国道33号線においても一部冠水するため大きな不安を抱えている。
- 国道33号の浸水により村内外への出入りが不可能になり、トラックが止まったり農産物が水に浸かり全てダメになったことがある。
- 道が一本しかないため、通行止め時や川の氾濫などにより訪問ができない地区がある。
- 浸水時には、迂回路がないため、スーパーに商品が届かない場合があり、国道494号(須崎市)経由で運搬する。
- 「大雨時の浸水想定」という課題がある中で、高知県全体の防災力を向上させるという観点の下、地域全体のハード・ソフト両面から防災力を向上させ「災害に強い地域」として位置付けることを目指す。

【意見交換会】

- 大雨時には浸水による通行止めが発生し、迂回路がないため陸の孤島となり孤立する。

求められる道路の役割

【アンケート】

- a 南海トラフ地震時の避難、救援ルートとなる道路
《88%》

【ヒアリング】

- 高知県の第1次緊急輸送道路にも位置付けされている道路で、いかなる場合でも信頼性の高い道路としての整備が必要。
- 災害時に現道以外の道路がもう1本ほしい。
- 南海トラフ地震等の大規模災害時における、黒潮町方面への広域支援進出ルートの役割として大きく寄与するものと思われるため、災害に強い道路構造・ルートとなるよう整備されることが望ましい。

【意見交換会】

- 土砂崩れや障害物(倒木など)などが発生しても通行可能な災害時に強い道路整備が必要。

【アンケート】

- b 台風・豪雨時にも使用できる道路 《89%》

【ヒアリング】

- 国道33号以外でももう一本使用できる幹線道路があれば人やモノの動きの滞りが無くなることが期待できる。
- 冠水により交通が寸断されないような道路。
- 台風・豪雨時にも浸水せず、避難や自衛隊等の救援が可能となる道路。
- 災害面や安全面から通行止めにならず、緊急時にも安心して通れる道がほしい。

【意見交換会】

- 浸水地区を避ける場所への迂回路の設置や災害時に強い道路整備が必要。

政策目標

豪雨や地震等の災害に備えた
信頼性の高いネットワークの確保



3. 第1回意見聴取の結果(アンケート・ヒアリングまとめ②)

地域の現状と課題

③流通

【アンケート】

- c** トンネル断面が狭小で大型車の走行に支障があり
流通に影響がある 《73%》

【ヒアリング】

- 狭小なトンネルがあり、大型車の通行がスムーズでないことから高知から愛媛間の物資等の流通に不安がある。
- 赤土トンネルは、断面が狭小でトラックなど大型車両とのすれ違い時に多くの住民が危険を感じている。
- 通常の通行は支障はないものの、大型車同士の場合は後続車に影響が出てくるとされる。
- 赤土トンネルではトラック荷台の角が当たり火花を散らしながら走行していた。
- 農産物・加工品の地産外商がより一層推進できる地域にしていきたい。

【意見交換会】

- 豪雨による通行制限で農作物の流通が止まる。

④観光

【アンケート】

- d** 地域の観光資源を有効活用できていない 《60%》

【ヒアリング】

- 交通渋滞などにより定時性が確保されないため、観光滞在時間が短くなり、観光資源を十分に活用できていない。
- 日高村では交通渋滞が発生しており、観光時間の設定に支障をきたしている。
- 観光資源は多く存在するが、施設を結ぶ道路網の整備が遅れていることから、最大限の効果が発揮されていない。
- 交通の高速化の遅れで観光振興に不利。
- 観光客が喜ぶスポットの充実や観光スポットに至る道路を快適にして滞在型観光にしたい。

【意見交換会】

- 道路の幅が狭く大型バスの通行に支障があり、観光ツアーを呼び込みにくい道路になっている。

求められる道路の役割

【アンケート】

- c** 大型車が安定して走れ、流通が円滑になる道路 《81%》

【ヒアリング】

- 大型車と歩行者が安心できる道が走りやすく、流通も円滑になると思われる。
- 時間短縮が図れる道路が出来ること、いの町・佐川町・越知町などの他地域の集荷場にも事業を拡大できる。
- 線形不良やトンネル断面狭小箇所での大型車の離合は危険を感じるため解消が必要。

【意見交換会】

- 輸送時間の短縮が可能な道路整備が必要。

【アンケート】

- d** 地域の観光振興を支える道路 《74%》

【ヒアリング】

- 大型バスが通行しやすいルートがあれば良い。
- 観光バスや自家用車が安心して走れる道。
- 須崎市から(国道494号方面)のアクセスや能津方面へ大型バスが通行しやすいような道路。

【意見交換会】

- 現道沿いの村の駅やかわの駅といった既存の観光資源を活かしつつ更に発展させるような道路整備が必要。

政策目標

物流の隘路解消、移動時間の短縮により産業・観光振興を支援



3. 第1回意見聴取の結果(アンケート・ヒアリングまとめ③)

地域の現状と課題

⑤医療

【アンケート】

e 大きな病院までのアクセス性に不安がある 《77%》

【ヒアリング】

- 高知市内までの救急搬送について、搬送の時間帯によっては、交通渋滞により時間を要することがある。
- バイパスが無く、事故発生時には、国道、県道、村道、農道にまで渋滞の影響が波及することがある。
- ドクターヘリが利用できない荒天時や夜間は、狭小で見通しの悪いカーブが連続する国道33号では、救える命も救えない。
- 災害時には、国道33号に車が集中する恐れがあり搬送に支障がでる。
- 災害に対しても機能する道路とすることで、救急車が第3次医療施設に早急に到着できるなど、安心・安全な地域づくりが必要。

【意見交換会】

- 通行止め時や渋滞時に緊急車両が通れず、道幅が狭いため救急搬送時に時間がかかる。

⑥事故・安全性

【アンケート】

f カーブが多く危険を感じる 《71%》

【ヒアリング】

- 日高村内の線形不良箇所は、以前から交通事故が発生している場所で、大変不安を感じている。
- 見通しが悪く国道への流入車両の確認が遅れる。緊急走行時の追越は危険が伴う。
- 国道33号のカーブはきつく、大型車両とのすれ違いの際は注意を払う。
- カーブが多いと先が見えないのですれ違いが不安。
- 安心・安全な事故がない道路環境の整備。

【意見交換会】

- 国道33号の現道が狭く、急カーブもあるため見通しが悪い。

求められる道路の役割

【アンケート】

e 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 《85%》

【ヒアリング】

- 村の唯一の診療所では対応しきれない医療について、高知市内を中心に救急医療施設へのアクセス性向上が非常に重要。
- 能津地区から病院へ行く際に救急車で20分もかかるため能津地区へとつながられるルートがほしい。
- 救急搬送において走行時間の短縮ができる道路が必要。

【意見交換会】

- 安全かつ早く救急搬送ができるように、有事の際に緊急車両が円滑に走れる道路整備が必要。

【アンケート】

f 走りやすく安心して走れる道路 《86%》

【ヒアリング】

- いの町以西の特に県境まではカーブが多く存在しており、早期改良を強く望む。
- 救急搬送時などに、路面に凸凹なく、カーブの視認がよく、追越に際し一般車両の退避スペースがあるなど、緊急走行にストレスがなく、傷病者を安全に搬送できる道路。
- 見通しが良く幅員が広い道路。

【意見交換会】

- カーブが少ない走りやすい道路がほしい。

政策目標

路面冠水や混雑の解消、安全性向上による交通事故の減少、救急医療機関への速達性向上や安静搬送の実現により安心・安全な生活を支援



3. 第1回意見聴取の結果(アンケート・ヒアリングまとめ④)

地域の現状と課題

⑦混雑

【アンケート】

g 混雑が発生し、通勤・通学・買い物に影響する 《73%》

【ヒアリング】

- 地域からの要望として「渋滞解消」が一番多いと感じている。生活面、観光面などでも、渋滞の解消が不可欠である。
- いの町と日高村の境付近より日高村役場前までが渋滞が発生している。
- スポーツパークさかわから高知市に行く途中で事故が発生すると迂回路がないため、片側通行を待つしかない。
- 買い物や通学等で不便している日高村北部(能津地区)から国道33号へのアクセス性の改善もお願いしたい。
- JR西佐川駅・佐川駅までの高校生の送迎で、朝夕が混雑する。

【意見交換会】

- 朝夕の通勤時間帯に渋滞が発生している。

求められる道路の役割

【アンケート】

g 混雑せず円滑に走れる道路 《84%》

【ヒアリング】

- 日常生活において定時性が確保される道路。
- 朝夕のラッシュが非常に激しい日高村において、混雑せず円滑に走行できることは非常に重要。
- 渋滞を生じさせない道路網の構築が必要。
- 高知市等の職場への通勤時間が少しでも改善されて、定住しやすく、町に訪れる人が増える地域にしたい。

【意見交換会】

- 通行時間が短縮される道路整備が必要。

政策目標

定時性・走行性の向上により地域間の円滑な移動を支援

※赤字《 》書きの数値は、アンケートにおいて「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合



3. 第1回意見聴取の結果(アンケート・ヒアリングまとめ⑤)

	地域の現状と課題	求められる道路の役割	意見聴取の結果	政策目標
防災	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される <u>《81%》</u> ■ 台風、豪雨の際に浸水被害が発生する <u>《85%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南海トラフ地震時の避難、救援ルートとなる道路 <u>《88%》</u> ■ 台風、豪雨時にも使用できる道路 <u>《89%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「災害に強い道路」、「浸水による通行止めが発生しない道路」、「現道以外の幹線道路整備」についての意見が寄せられた 	① 豪雨や地震等の災害に備えた信頼性の高いネットワークの確保
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大きな病院までのアクセス性に不安がある <u>《77%》</u> ■ カーブが多く危険を感じる <u>《71%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の医療拠点とのアクセス性を向上させる道路 <u>《85%》</u> ■ 走りやすく安心して走れる道路 <u>《86%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「救急医療機関へのアクセス性向上や時間短縮」、「安全性向上による安静搬送の実現」、「路面冠水」、「道路の混雑」、「線形不良箇所における交通事故の多発」、「急カーブ区間の解消」、「全ての交通が安心・安全な道路環境の整備」についての意見が寄せられた 	② 路面冠水や混雑の解消、安全性向上による交通事故の減少、救急医療機関への速達性向上や安静搬送の実現により安心・安全な生活を支援
産業・観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ■ トンネル断面が狭小で大型車の走行に支障があり流通に影響がある <u>《73%》</u> ■ 地域の観光資源を有効活用できていない <u>《60%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大型車が安定して走れ、流通が円滑になる道路 <u>《81%》</u> ■ 地域の観光振興を支える道路 <u>《74%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「トンネル断面狭小の解消」、「移動時間の短縮」、「大型バスが通行しやすい道路整備」についての意見が寄せられた 	③ 物流の隘路解消、移動時間の短縮により産業・観光振興を支援
交通の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 混雑が発生し、通勤・通学・買い物に影響する <u>《73%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 混雑せず円滑に走れる道路 <u>《84%》</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「定時性の確保」、「走行性の向上」、「周辺地域等へのアクセス性に配慮した道路整備」についての意見が寄せられた 	④ 定時性・走行性の向上により地域間の円滑な移動を支援

※赤字《 》書きの数値は、アンケートにおいて「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合



【第1回意見聴取のまとめ】

第1回意見聴取で提示したアンケート・ヒアリング項目に対し、

- 《地域の課題》アンケート : 地域住民の約6～8割の方が「防災面の脆弱性」「大型車の走行に影響する狭小箇所」「観光資源の有効活用」「医療サービスや道路の安全性への不安」「道路混雑」について課題と思われる。
- ヒアリング : 地震、台風・豪雨による地域の孤立、産業・観光における道路への不満、医療サービス・事故への不安、道路混雑に対する不満を訴える意見を多く頂いた。
- 意見交換会 : ヒアリングと同様に「防災」「産業」「観光」「医療」等に対して課題があるとの意見を頂いた。

⇒ 『地域の課題』が確認できた。

- 《道路の役割》アンケート : 地域住民の約7～9割の方が課題を解消する道路が必要と思われる。
- ヒアリング : 地震に強い代替路の確保、豪雨等災害時に通行止めにならない、産業・観光の支援、医療施設への速達性の向上や安静搬送、道路混雑の解消を求める声を多く頂いた。
- 意見交換会 : ヒアリングと同様に「防災」「産業」「観光」「医療」等の課題を解消する道路を求める意見を多く頂いた。

⇒ 地域の課題を解決するための 『道路整備の必要性』が確認できた。

以上より、地域の声は、第1回小委員会で提示・確認頂いた 『地域と道路の課題の解決を求めていること』が確認できた。

また、地域・道路の課題を解決するための 『政策目標の妥当性』も確認できた。

地域と道路の課題を解決する政策目標を設定

4. 政策目標(案)の設定と 対応方針(案)の検討



4.政策目標（案）の設定と対応方針（案）の検討

- 第1回意見聴取で妥当性が確認できた「政策目標」を達成するため、対応方針(案)（ルート帯案）を検討
- 対応方針(案)（ルート帯案）検討にあたって考慮すべき評価項目を踏まえ、複数のルート帯案及び現道との接続位置の考え方を検討

【政策目標】

①豪雨や地震等の災害に備えた信頼性の高いネットワークの確保	②路面冠水や混雑の解消、安全性向上による交通事故の減少、救急医療機関への速達性向上や安静搬送の実現により安心・安全な生活を支援	③物流の隘路解消、移動時間の短縮により産業・観光振興を支援	④定時性・走行性の向上により地域間の円滑な移動を支援
-------------------------------	---	-------------------------------	----------------------------

【ルート帯案検討にあたっての評価項目】

○ルート帯案の検討にあたっては、豪雨や地震等への対応、安心・安全な生活支援のための路面冠水・混雑の解消、医療サービスの支援、交通事故減少、産業・観光振興の支援のための物流の隘路解消、移動時間短縮、円滑な地域間の移動支援のための定時性・走行性の向上に加え、自然・生活環境の保全と調和、経済性等に配慮し検討する。

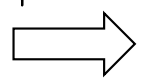
《政策目標を達成するために考慮する評価項目》

豪雨や地震への対応	安全性・定時性・走行性
<ul style="list-style-type: none"> ・国道33号の代替路の確保 ・他の主要道路との円滑な連絡の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に影響する路面冠水や混雑の解消 ・医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減 ・安全性向上による交通事故の減少 ・大型車の障害となる狭小断面の解消 ・流通拠点までの輸送時間短縮、商品の品質の確保 ・観光地への立ち寄り箇所や滞在時間の増加（広域的な時間短縮等） ・混雑区間の解消 ・周辺地域とのアクセス性の確保 ・トラフィック（走行）機能の確保 ・広域的な速達性の確保

《道路整備に際し配慮する評価項目》

自然環境・生活環境等の保全と調和	経済性等への配慮
<ul style="list-style-type: none"> ・動物への影響 ・植物への影響 ・集落などへの影響 ・大気質及び騒音等の影響 ・重要な史跡等への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設に要する期間 ・段階的な効果の発現 ・建設に要する費用

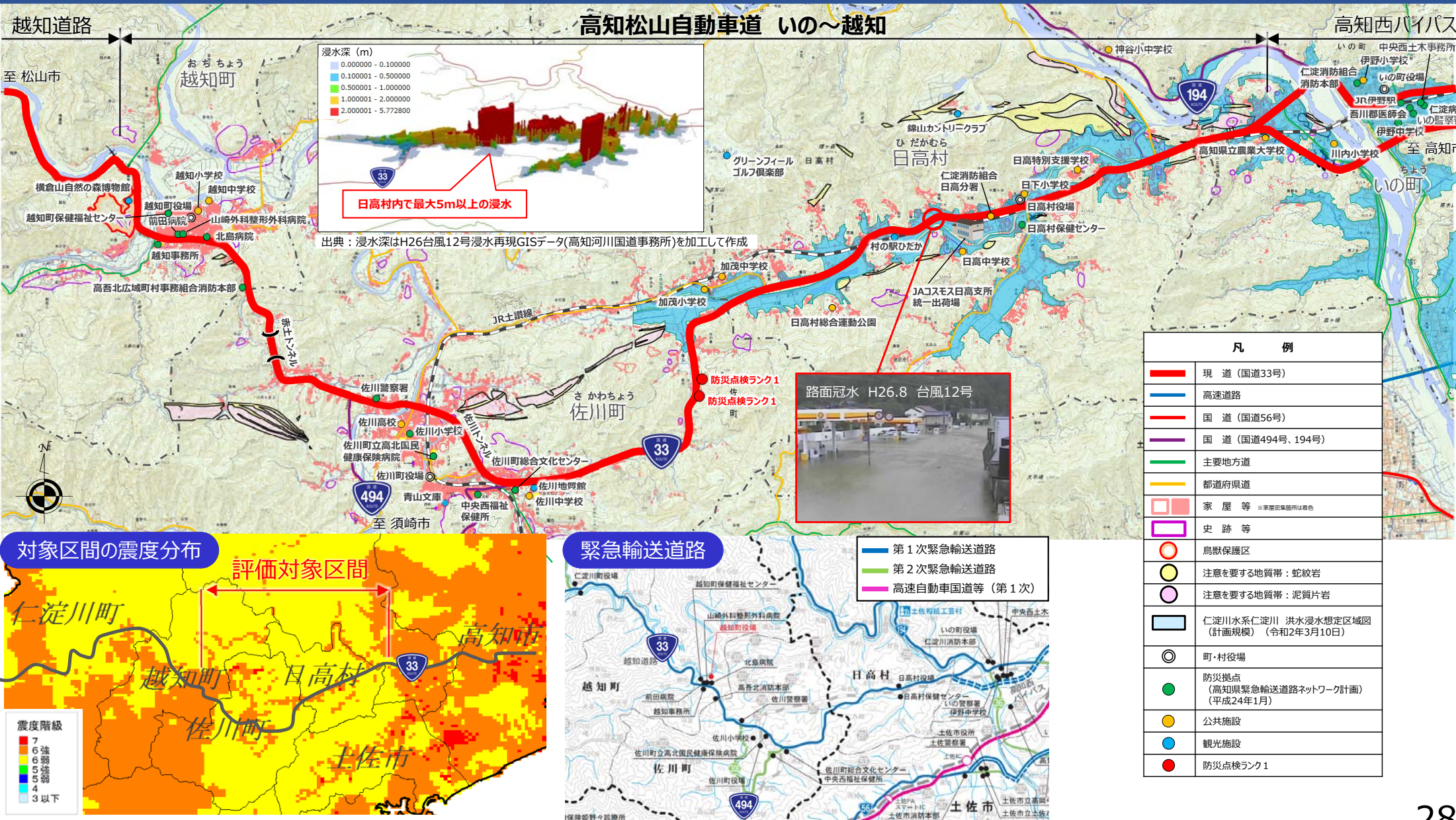
複数のルート帯及び現道との接続位置の考え方を検討



- 新たにバイパスを整備する案
- 現国道33号を改良する案

4.複数のルート帯案の検討（豪雨や地震への対応）

- いの町～佐川町の国道33号沿線は、仁淀川洪水浸水想定区域に指定されている。また、南海トラフ地震では最大震度6強と想定されている。
- 国道33号沿線には防災拠点が複数点在していることや、国道494号は高知県の第2次緊急輸送道路に指定されており、国道33号と国道494号の円滑な連絡を確保する必要がある。



出典：H24.12「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料

出典：高知県緊急輸送道路ネットワーク計画(平成24年1月)

4.複数のルート帯案の検討（安全性・定時性・走行性）

- 国道33号は、高知市方面に近づくにつれて交通量が増加し、いの町～佐川町では朝夕ピーク時間帯に混雑が発生している。
- ルート帯の検討にあたっては、混雑の解消、交通事故減少、医療・産業等の支援のため、定時性・走行性の向上に考慮する必要がある。



-
- 越知道路
- 高知松山自動車道 いの〜越知
- 高知西バイパス
- 至 松山市
- お ち ち ょう
越 知 町
- 越知町保健福祉センター
- 越知小学校
- 越知中学校
- 前田病院
- 山崎外科整形外科病院
- 北島病院
- 黒岩小学校
- 市街地（集落）に
役場、学校、医療
機関が集積
- 横倉鳥獣保護区
- 写真①
- 鳥獣保護区
高知県
WILDLIFE PROTECTION AREA
DOGS PROHIBITED
- JR土讃線
- 加茂中学校
- 加茂小学校
- 日下川調整池
- ひ だ か む ら
日 高 村
- 日高特別支援学校
- 日下小学校
- 日高村役場
- 日高中学校
- 市街地（集落）に
役場、学校が集積
- 小村神社
- 神谷小中学校
- 194
- いの町
- 伊野小学校
- いの町役場
- 吾川郡医師会
- 仁淀病院
- 伊野中学校
- 川内小学校
- 高知県立農業大学校
- 至 高知市
- ち っ ち ょう
い の 町
- さ か わ ち ょう
佐 川 町
- 佐川高校
- 佐川小学校
- 佐川町立高北国民健康保険病院
- 佐川町役場
- 494
- 佐川中学校
- 至 須 崎 市
- 33
- 土佐市
- 凡 例
- 現 道 (国道33号)
- 高速道路

凡 例	
	現 道 (国道33号)
	高速道路
	国 道 (国道56号)
	国 道 (国道494号、194号)
	主要地方道
	都道府県道
 	家 屋 等 ※家屋密集箇所は着色
	史 跡 等
	鳥獣保護区
	町・村役場
	学校
	医療施設

至 松山市

至 高知市

[illegible]

4.対応方針（案）の検討【案①】

○ 案① 全線バイパス案（最短ルート）



■整備概要

整 備 概 要	延長 約17km 速度 60km/h 2車線 （一般道路）
------------	--

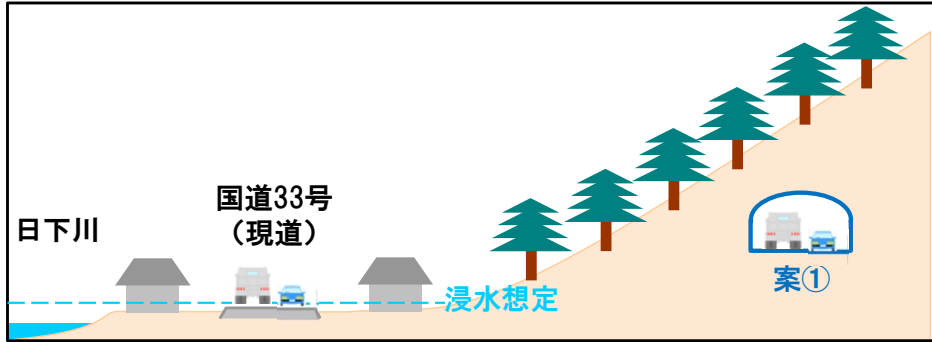
コスト	約 900~1,000億円
-----	---------------

■ルート帯の概要

内 容	区間延長を極力短くしたルートで、トンネル構造を主に採用している
-----	---------------------------------

〈A-A 付近のイメージ〉

※浸水区域を回避する位置にバイパス設置



○ 案② 全線バイパス案（アクセス性考慮）



■整備概要

整備概要

延長 約19km
速度 60km/h
2車線
(一般道路)

コスト

約 800~900億円

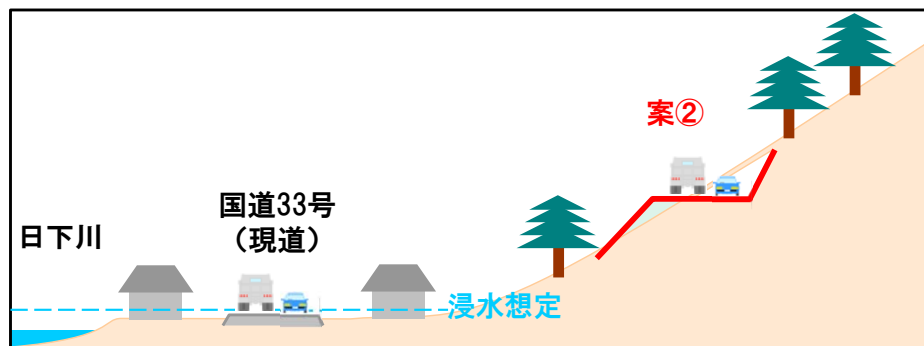
■ルート帯の概要

内容

市街地(集落)や周辺地域とのアクセス性を重視したルートで、土工や橋梁構造を主に採用している

〈B-B 付近のイメージ〉

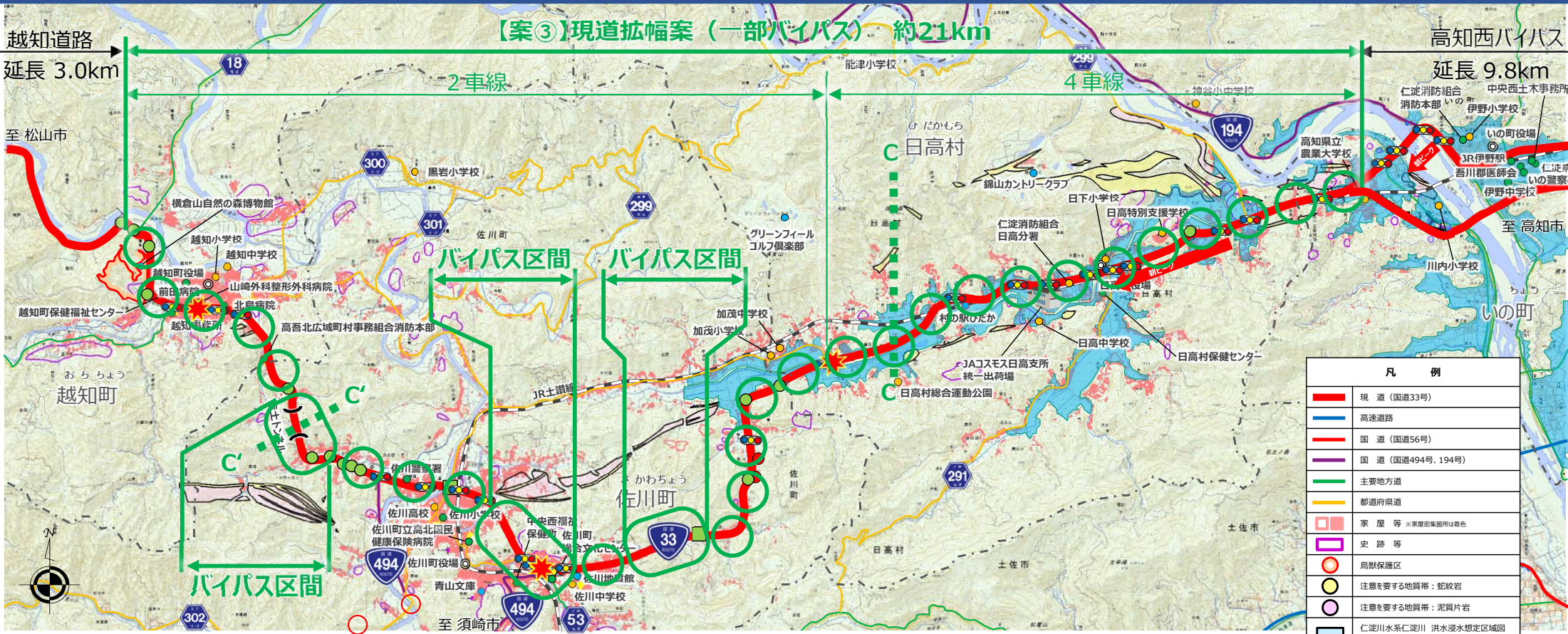
※浸水区域を回避する位置にバイパス設置



凡 例	
	現 道 (国道33号)
	高速道路
	国 道 (国道56号)
	国 道 (国道494号、194号)
	主要地方道
	都道府県道
	家 屋 等 ※家屋密集箇所は紫色
	史 跡 等
	鳥獣保護区
	注意を要する地質帯：蛇紋岩
	注意を要する地質帯：泥質片岩
	仁淀川水系仁淀川 洪水浸水想定区域図 (計画規模) (令和2年3月10日)
	町・村役場
	防災拠点 (高知県緊急輸送道路ネットワーク計画) (平成24年1月)
	公共施設
	観光施設
	防災点検橋1
	平面線形不良箇所(R<150m)
	縦断線形不良箇所(i>5%)
	物流施設
	事故危険区間
	信号交差点
	平日旅行速度 20km/h未満区間 (ETC2.0利用—データ様式2-4、2020年10月)

4.対応方針（案）の検討【案③】

○ 案③ 現道拡幅案（一部バイパス）



■ 整備概要

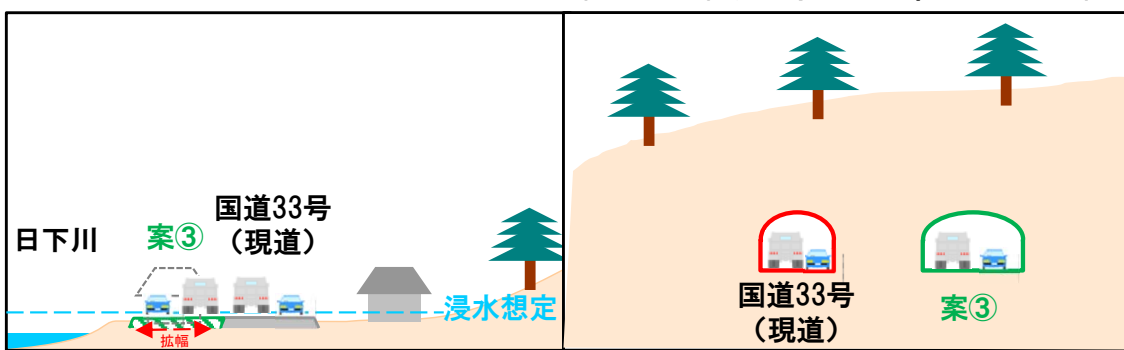
整備概要	延長 約21km 速度 60km/h 4車線、2車線 (一般道路)
------	--

コスト	約 700~800億円
-----	-------------

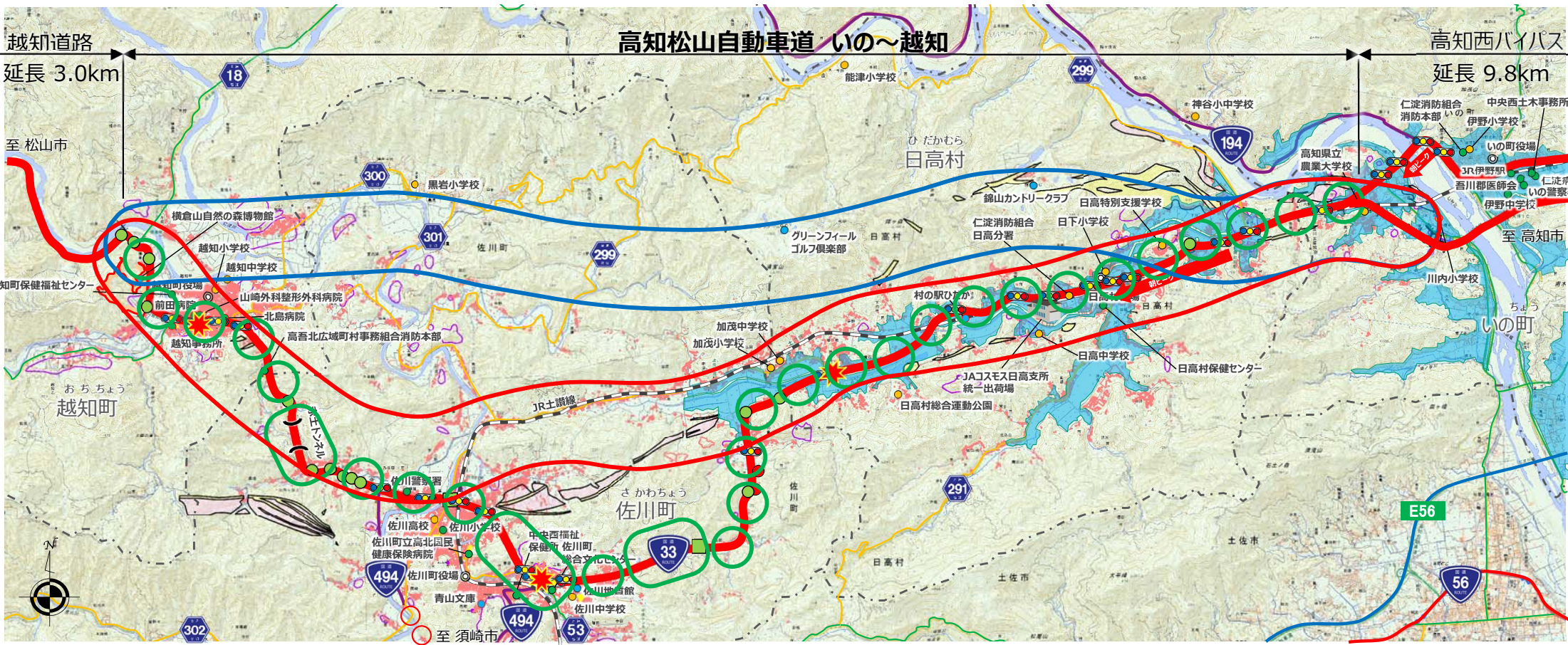
■ ルート帯の概要



























内容	現状の国道33号の急カーブ・道路幅等を改良する
----	-------------------------

〈C-C 付近（現道活用）のイメージ〉 〈C'-C' 付近（バイパス）のイメージ〉



4.対応方針（案）の検討（ルート帯案の概要及び比較評価）



ル ー ト 帯 案		凡 例							
	【案①】全線バイパス案 （最短ルート）		現 道（国道33号）		家 屋 等 ※家屋密集箇所は着色		仁淀川洪水浸水想定区域		防災点検ランク 1
	【案②】全線バイパス案 （アクセス性考慮）		高速道路		史 跡 等		町・村役場		平面線形不良箇所(R<150m)
	【案③】現道拡幅案 （一部バイパス）		国 道（国道56号）		鳥獣保護区		防災拠点（高知県緊急輸送道路ネットワーク計画） （平成24年1月）		縦断線形不良箇所(i>5%)
			国 道（国道494号、194号）		注意を要する地質帯：蛇紋岩		公共施設		物流施設
			主要地方道		注意を要する地質帯：泥質片岩		観光施設		
			都道府県道		事故危険区間		信号交差点		平日旅行速度 20km/h未満区間 (ETC2.0フローデータ様式2-4_2020年10月)

4. 対応方針（案）の検討（ルート帯案の概要及び比較評価）



対策案の考え方			案① 全線バイパス案（最短ルート）	案② 全線バイパス案（アクセス性考慮）	案③ 現道拡幅案（一部バイパス）
評価項目			延長 約17km 60km/hで走行できる一般道路（2車線）	延長 約19km 60km/hで走行できる一般道路（2車線）	延長 約21km 60km/hで走行できる一般道路（4車線、2車線）
政策目標	①豪雨や地震等の災害に備えた信頼性の高いネットワークの確保	国道33号の代替路の確保	国道33号の代替路が確保できる	国道33号の代替路が確保できる	現状の国道33号を改良するため、代替路が確保できない
		他の主要道路との円滑な連絡の確保	須崎市方面への緊急輸送道路(国道494号)にアクセスしづらい	須崎市方面への緊急輸送道路(国道494号)にアクセスしやすい	須崎市方面への緊急輸送道路(国道494号)にアクセスしやすい
	②路面冠水や混雑の解消、安全性向上による交通事故の減少、救急医療機関への速達性向上や安静搬送の実現により安心・安全な生活を支援	日常生活に影響する路面冠水や混雑の解消	路面冠水区域の回避、混雑の解消が見込まれる	路面冠水区域の回避、混雑の解消が見込まれる	混雑は解消されるが、浸水区域を回避できない（日下川新規放水路により浸水深は緩和される）
		医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減	搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれる	搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれる	患者への負担軽減は見込まれるが時間短縮は限定的である
		安全性向上による交通事故の減少	交通機能を高めるための沿道からの出入制限により安全性が向上し、交通事故の減少が見込まれる（バイパスと現道の機能分担により現道の安全性も向上する）	交通機能を高めるための沿道からの出入制限により安全性が向上し、交通事故の減少が見込まれる（バイパスと現道の機能分担により現道の安全性も向上する）	現道改良により安全性は向上するが、沿道からの出入制限がなされていないことから、交通事故の削減効果は限定的である
	③物流の隘路解消、移動時間の短縮により産業・観光振興を支援	大型車の障害となる狭小断面の解消	狭小断面箇所を回避できる	狭小断面箇所を回避できる	狭小断面箇所を回避できる（狭小断面箇所は別線で回避）
		物流拠点までの輸送時間短縮、商品の品質の確保	国道33号へのアクセスが悪く、物流拠点までの時間短縮は見込めないが、通行止めの回避により品質の確保は見込まれる	国道33号へのアクセスがしやすく、物流拠点までの時間短縮や通行止めの回避により品質の確保が見込まれる	物流拠点までの時間短縮は限定的である
		観光地への立ち寄り箇所や滞在時間の増加（広域的な時間短縮等）	時間短縮により観光地への立ち寄りや滞在時間の増加が見込まれる（国道33号沿線の施設から遠いため案②より劣る）	時間短縮により観光地への立ち寄りや滞在時間の増加が見込まれる	時間短縮が小さく、観光地への立ち寄りや滞在時間の増加は限定的である
	④定時性・走行性の向上により地域間の円滑な移動を支援	混雑区間の解消	交通がバイパスに転換するため混雑が解消する	交通がバイパスに転換するため混雑が解消する	現道の4車線化により混雑が解消する
		市街地(集落)や周辺地域とのアクセス性の確保	市街地(集落)や周辺地域へのアクセス性は向上しない	市街地(集落)や周辺地域へのアクセス性が向上する	市街地(集落)や周辺地域へのアクセス性が向上する
		トラフィック(走行)機能の確保	トラフィック機能が向上し、現道との機能分担を図ることができる（現道は沿線を利用する車、自転車、歩行者等が通行）	トラフィック機能が向上し、現道との機能分担を図ることができる（現道は沿線を利用する車、自転車、歩行者等が通行）	現道沿線の利便性は向上するが、通過交通と沿線利用の交通が混在するため、トラフィック機能の向上は限定的である
		広域的な速達性の確保	バイパス整備により広域的な速達性が最も向上する	バイパス整備により広域的な速達性が向上する（案①より劣る）	現道改良案であるため、広域的な速達性の向上は限定的である
配慮すべき事項	自然環境	動物への影響	トンネルを主としたバイパス案であるため、地形改変の延長が短く、影響は最も小さい	バイパス整備による地形改変の延長は比較的に長い（詳細なルート・構造等の検討段階で生息地等に配慮する）	地形改変の延長は比較的に長い、既に開発されている現道沿線であるため、影響は小さい
		植物への影響	トンネルを主としたバイパス案であるため、地形改変の延長が短く、影響は最も小さい	バイパス整備による地形改変の延長は比較的に長い（詳細なルート・構造等の検討段階で生育地等に配慮する）	地形改変の延長は比較的に長い、既に開発されている現道沿線であるため、影響は小さい
	生活環境	集落などへの影響	小さい	比較的に小さい	大きい
		大気質及び騒音等の影響	市街地(集落)を通過しないトンネルを主としたバイパス案であるため、影響は最も小さい	市街地(集落)を極力通過しないバイパス案であるため、影響は小さい	現道沿線への影響が大きい
		重要な史跡等への影響	重要な史跡等は回避するため、影響は小さい	重要な史跡等は回避するため、影響は小さい	重要な史跡等は回避するため、影響は小さい
	事業期間	建設に要する期間	構造物延長が最も長く、工事用進入路が少ないため、事業期間は長い	構造物延長が長い、工事用進入路を多く設置できるため、事業期間は案①より短い	構造物延長は短い、現道交通を確保しながら工事を進める必要があるため、事業期間は最も長い
		段階的な効果の発現	トンネルを主としたバイパス案であるため、段階的な供用は難しい	市街地(集落)や周辺地域とのアクセス性を重視したバイパス案であるため、中間ICでの段階的な供用が可能	現道活用が主であるため、段階的な供用が可能
	経済性※	建設に要する費用	約900～1,000億円	約800～900億円	約700～800億円

※現時点での概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により数量・金額が変更となる場合がある。



5. 第2回意見聴取方法(案)



5. 第2回意見聴取方法（案）

意見聴取の基本方針

○対応方針（案）の検討のため、「ルート帯案」、「現在の国道33号との接続位置」に対して意見を伺う。

意見聴取の対象者と方法

対象者・実施方法	
ヒアリング	【自治体及び団体代表者】県・関係市町村・団体へインタビュー形式でのヒアリング
	自治体：高知県、愛媛県、高知市、いの町、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町 土佐市、須崎市、中土佐町、四万十町、黒潮町、松山市、砥部町、久万高原町
	各団体等：商工会、消防署、警察署、農協、漁協、観光協会、スーパー（移動販売）、交通事業者（バス、タクシー）、医療関係、福祉関係、スポーツ関連施設、県・市町村から地域代表として 推薦いただいた地域の活動団体 等
アンケート	【道路利用者】関係市町村の道の駅、観光施設の利用者へインタビュー形式でのヒアリング
	道の駅：道の駅 土佐和紙工芸村 観光施設：レストパークいの、村の駅ひだか、佐川地質館、スノーピークかわの駅おち
	【地域住民】いの町、日高村、佐川町、越知町の住民へ郵送配布 約 18,900部
その他	いの町：全世帯に配布 約 9,200部
	日高村：全世帯に配布 約 2,000部
	佐川町：全世帯に配布 約 5,200部
	越知町：全世帯に配布 約 2,500部
	【事業所】関係市町村の事業所へ郵送配布 約 1,800部
その他	いの町、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町：全事業所に配布 約 1,800部 高知市：運輸業の事業所に配布
	【道路利用者】道の駅・観光施設等への常設、WEB（HP掲載）による実施

※アンケート回収方法は、郵送、WEB回答による。

意見聴取範囲





5. 第2回意見聴取方法（案）

アンケートにおける質問内容

問1 あなたの住む地域にとって、望ましいルート帯案を考える際に、何が重要と思いますか？

次のA～Eから、重要と思うものを、**3つ選んでください。**

	項目
A	国道33号が災害（路面冠水等）や事故等で通行止めになった場合に、国道33号の代わりとして利用できること
B	災害発生時に、円滑な救命・救助活動を支援するため、地域の防災拠点施設、他の主要路線と連絡ができること
C	交通事故が少なく、安全に走行できること
D	周辺地域の流通拠点・観光地等へのアクセス性が良く、早くスムーズに移動ができること
E	広域的な移動について時間短縮が図られること

問2 あなたの住む地域にとって、望ましいルート帯案を考える際に、何に配慮すべきだと思いますか？

次のA～Eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

	項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A	自然環境（動物・植物等）への影響が少ないこと	5	4	3	2	1
B	生活環境等（集落、大気質・騒音、史跡等）への影響が少ないこと	5	4	3	2	1
C	建設に要する期間が短いこと	5	4	3	2	1
D	段階的な効果の発現が期待できること	5	4	3	2	1
E	建設に要する費用が安いこと	5	4	3	2	1

上記A～E以外で、重要と思うものがあれば、ご自由にお書きください。

問3 インターチェンジを作る際に、配慮すべき事項についてどう思いますか？

次のA～Cについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

	項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A	災害発生時に、地域の防災拠点施設や愛媛県や高知県西南地域等に向かうための主要道路と円滑に連絡できること	5	4	3	2	1
B	市街地（集落）と円滑に連絡できること	5	4	3	2	1
C	観光地や流通拠点と円滑に連絡できること	5	4	3	2	1

上記A～C以外で、重要と思うものがあれば、ご自由にお書きください。

問4 その他、国道33号 いの～越知間の道路整備等について、あなた自身が日頃から思う事など、ご意見やご要望をご自由にお書きください。